

(2013年度)

3 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は26ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1

I 以下の文章を読んで、問(1～2)に答えなさい。

教皇ボニファティウス8世は1303年、フランス国王(1)にとらえられ、(2)近郊のアナーニに捕囚された。(1)は、ボニファティウス8世憤死後、教皇庁を(3)のアヴィニョンに移転させ、教皇をフランス王権の支配下においた。これは、(4)のバビロン捕囚にたとえて「教皇のバビロン捕囚」と呼ばれる。その後、教皇がローマにもどると、フランス王はアヴィニョンにも別の教皇をたて、大シスマとなった。ローマの教皇を後押ししたのは神聖ローマ皇帝と(5)である。これをきっかけに教皇の権威は失墜し、同時に教会の腐敗や墮落を批判して教会を改革しようとする動きが出てきた。(6)のフスやイギリスのウィクリフらがその急先鋒^{ほう}となった。こうした混乱に対して、(7)年のコンスタンツ公会議は2人を異端と宣告し、フスは火刑に処された。しかしその後も(6)では民族運動と結びついてフス派の反乱が続くなど、教皇の権威の回復にはいたらなかった。これが、16世紀の宗教改革にひきつがれていく。1517年、(8)大学神学教授マルティン＝ルターは贖宥状^(B)の発行を批判して95カ条の論題を発表するのである。

問1 空欄(1～8)にもっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- (1) a フィリップ2世 b フィリップ4世 c フィリップ6世
 d シャルル7世 e シャルル8世
- (2) a ローマ b フィレンツェ c ポローニャ
 d ミラノ e ナポリ
- (3) a フランス南西部 b フランス北東部 c フランス北部
 d フランス西端部 e フランス南東部
- (4) a 古代ペルシア人 b 古代エジプト人 c 古代ユダヤ人
 d 古代ギリシア人 e 古代フェニキア人

- (5) a ナポリ王 b ハンガリー王 c ポルトガル王
 d アラゴン王 e イギリス王
- (6) a ベーメン b フランドル c リトアニア
 d ブルガリア e ハンガリー
- (7) a 1406-1408年 b 1412-1431年 c 1414-1418年
 d 1419-1436年 e 1422-1461年
- (8) a アウクスブルク b エアフルト c ヒルデスハイム
 d ドレスデン e ヴイッテンベルク

問2 下線(A, B)に関する小問(1, 2)に答えなさい。

- (1) 下線(A)に関する文章で間違っているものを選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a イギリスにおける宗教改革の先駆者だった。
 b 聖書の尊重をとなえて聖書の英訳に反対した。
 c オックスフォード大学神学教授だった。
 d 教会制度を批判した。
- (2) 下線(B)に関する文章で間違っているものを選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a 罪の償いの免除として発行された。
 b 教皇レオ3世がサン=ピエトロ聖堂造営費捻出のために大量に発行した。
 c サン=ピエトロ聖堂にはミケランジェロも関与した。
 d ドイツでは豪商フッガー家を通じて数多く販売された。

II 以下の文章を読んで、問(3～5)に答えなさい。

ルネサンス文化は、地中海交易の盛んなイタリアや南北ヨーロッパ商業の中継地であったフランドルを中心^(A)に展開していった。特に古代ローマの伝統が残るイタリアでいち早く開花する。イタリアはしかし、(1)が実質的な元首で

あったフィレンツェ共和国，教皇領，（ 2 ）が治めるミラノ公国などに分裂していた。こうした国々の間での協調をはかってイタリア半島の安定を目指したのが（ 1 ）当主ロレンツォであった。ロレンツォはしばしば，近隣国との協調の手段としてフィレンツェの芸術家を派遣したが，これがフィレンツェのルネサンス美術が各地に伝播する契機となった。たとえばボッティチェリは1480年にローマに派遣され，システィーナ礼拝堂に壁画を描いている。なお，この礼拝堂では16世紀に入ってミケランジェロが天井画（ 3 ）および祭壇画（ 4 ）を描いている。

一方，フランドルではファン＝アイク兄弟が（ 5 ）の技法を改良して細部の精密な描写や写実性を向上させた。この技法を用いて，農民たちの生き生きとした姿を細部まで丹念に描きこんだのがブリュエルである。西欧では従来，農民は「無学で愚かな者」の象徴として描かれてきたが，ブリュエルは新しい視点から描写した。

このフランドルで成熟した新しい技法はイタリアにも伝播し，イタリア・ルネサンス美術は新たな段階に入った。特に16世紀ヴェネツィアでは，ティントレットやティツィアーノなどの巨匠が出たが，これらいわゆるヴェネツィア派の作品は近代を通じてヨーロッパ東西の宮廷で高い評価を得た。そして，大航海時代の訪れとともに凋落が始まったヴェネツィアにとって，芸術作品が重要な輸出産業となっていくのである。

問3 空欄(1～5)に入るもっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- | | | | | | | |
|-----|---|---------|---|---------|---|--------|
| (1) | a | スフォルツァ家 | b | ハプスブルク家 | c | オルレアン家 |
| | d | サヴォイア家 | e | メデイチ家 | | |
| (2) | a | スフォルツァ家 | b | ハプスブルク家 | c | オルレアン家 |
| | d | サヴォイア家 | e | メデイチ家 | | |
| (3) | a | 最後の晩餐 | b | 最後の審判 | c | 天地創造 |
| | d | アテネの学堂 | e | 受胎告知 | | |

- (4) a 最後の晩餐 b 最後の審判 c 天地創造
d アテネの学堂 e 受胎告知
- (5) a フレスコ b テンペラ c 素描 d 水彩 e 油絵

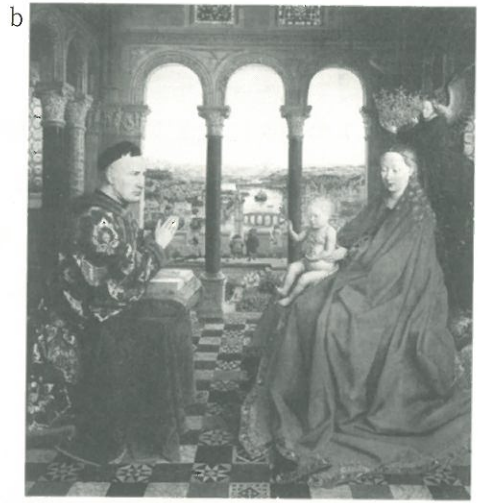
問4 下線(A～C)に関する小問(1～3)に答えなさい。

- (1) 下線(A)に関する文(a～d)のうち、間違っているものを1つ選びなさい。
- a 十字軍を機にヴェネツィア、ジェノヴァ、ピサなどが行った。
 - b アイユブ朝、マムルーク朝前半期のカーリミー商人も活躍した。
 - c イタリアの諸港市はビザンツ帝国やイスラーム圏から香辛料、宝石を買い付けた。
 - d ヨーロッパ側は木材や絹織物を売った。
- (2) 下線(B)に関する文(a～d)のうち、間違っているものを1つ選びなさい。
- a 1538年のプレヴェザ海戦でスペイン、ローマ教皇とともにオスマン海軍と戦い、敗北した。
 - b プレヴェザ海戦によってヴェネツィアはクレタ島を失った。
 - c 1571年のレバントの海戦ではスペイン、ローマ教皇などとともにオスマン海軍と戦い撃破を果たした。
 - d レバントの海戦後、スペインはポルトガルを併合した。

(3) 下線(C)に関する文(a～d)のうち、間違っているものを1つ選びなさい。

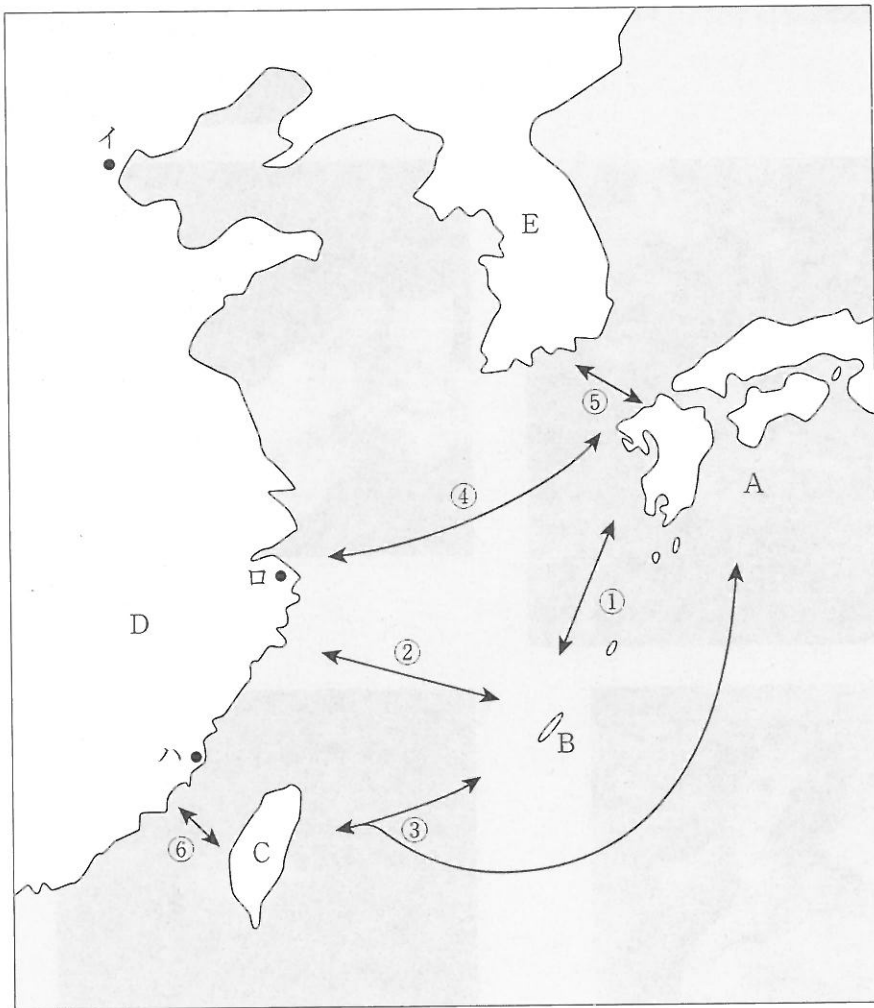
- a ヴァスコ＝ダ＝ガマによるインド航路開拓により、リスボンでの胡椒しやうの価格はヴェネツィアのものの半分以下となった。
- b アメリカ大陸から大量の銀が流入し、ヨーロッパの銀貨が下落、物価が高騰した。
- c モルッカ諸島は特に丁子やナツメグを産し、西欧各国の争奪の的となった。
- d アカプルコ貿易では、インドのゴアで中国の絹や陶磁器を銀と取引した。

問5 下線(ア～エ)の人物の作品を以下の選択肢(a～f)からそれぞれ1つ選びなさい。なお、選択肢の中には部分図もある。



2

下の地図は東アジア海域の概略図である。A～Eは国・地域を表し、矢印①～⑥はそれらの間の交流関係を表している。この海域における交流関係について以下の問(1～10)に答えなさい。解答は選択肢(a～e, あるいはa～j)から適するものを選びなさい。解答の数はそれぞれの問が指定しているので注意すること。



問1 前近代の①について誤っている記述を3つ選びなさい。

- a Aの薩摩藩大名である島津氏がBを制圧した。
- b AはBを制圧したのち税を納めさせた。
- c AによるBの首都制圧は1609年であった。
- d AはBを制圧したのち、二重統治体制を採用した。
- e Aの鎖国体制下でBに対して開かれていた窓口は長崎口であった。
- f Bの最初の統一がおこなわれたのは15世紀初めである。
- g Bの3国を最初に統一したのは中山王尚巴志である。
- h Bの統一王国の首都は首里であった。
- i Bの貿易の拠点となった外港は那覇である。
- j A人の母をもつ鄭成功はBを根拠地として活動した。

問2 近現代の①について誤っている記述を1つ選びなさい。

- a Aは、1871年、Bを鹿児島県に編入した。
- b Aは、1879年、Bを琉球県とした。
- c 1945年6月、アメリカ軍はA軍をほぼ壊滅させ、Bを占領した。
- d 1971年、アメリカはBの返還協定に調印した。
- e 1972年、BはAに復帰し沖縄県となった。

問3 ②について誤っている記述を1つ選びなさい。

- a Dが海禁政策をおこなっていた時代、Bは朝貢貿易で利益をあげた。
- b Bは14世紀後半にDの王朝から冊封されて王国となった。
- c DはBの遣明船に朱印状を与えて貿易を許可した。
- d Bの港周辺にはDの福建商人が移住していた。
- e Dが海禁政策を廃止するとともに、Bの貿易は衰退した。

問4 ③について正しい記述を1つ選びなさい。

- a 1874年、B人がCで殺害されたことを口実に、AはDに出兵した。
- b 1905年の下関条約によってCはAに割譲された。
- c 下関条約では澎湖諸島もAに割譲された。
- d 三国干渉に屈服したAはCを返還した。
- e 三国干渉に参加したのはイギリス・ドイツ・フランスであった。

問5 ④について正しい記述を3つ選びなさい。

- a Aの聖徳太子はDに遣隋使を派遣した。
- b 阿倍仲麻呂は遣隋使として2回中国に渡航している。
- c 遣唐使は630年に開始された。
- d 遣唐使は菅原道真の献言によって廃止された。
- e 遣唐使の廃止によって、Aでは独自の文化である天平文化が形成された。
- f 源頼朝は瀬戸内航路を整えて、日宋貿易を盛んにした。
- g 日宋貿易では銅銭をAからDへ輸出した。
- h Aの室町幕府とDの清朝との間でおこなわれた貿易は勘合貿易とよばれた。
- i AとDの貿易は徳川家康が禁止するまで続いていた。
- j Aは13～16世紀の期間、倭寇の襲撃に悩まされていた。

問6 ⑤について正しい記述を3つ選びなさい。

- a Eの広開土王は南進して百済・新羅に圧力を加えた。
- b 広開土王は高麗の王で、その事績をたたえた石碑が建てられている。
- c 広開土王が在位した時期は西暦300年前後である。
- d Aの水軍はEの百済軍救援のため出兵したが大敗した。
- e Aの水軍は6世紀後半に白村江の戦いで敗れた。
- f 12世紀後半、D・Eの混成軍は二度にわたってAに侵攻した。
- g D・E軍の侵攻を防衛したのはAの室町幕府に結集した武士であった。
- h Aの豊臣秀吉は、文永・弘安年間、Eに出兵したが失敗した。
- i Aの鎖国時代、Eとの交易の窓口となっていたのは対馬口であった。
- j EがAに朝鮮通信使を派遣したのは天皇の即位を祝賀するためであった。

問7 ⑥について正しい記述を1つ選びなさい。

- a Dの明王朝は清軍に攻められてCに逃れた。
- b 明王朝の復活をねらった鄭芝竜はCを拠点として戦った。
- c 鄭芝竜は明の王から姓を賜ったので国姓爺と称されていた。
- d 中華民国政府の蒋介石は1947年にCに逃れた。
- e Cの李登輝はDとの両立を目指す「二国論」を主張した。

問8 地図上の港湾都市(イ～ハ)の地名は何か。もっとも適するものを選びなさい。

- イ) a 天津 b 大連 c 旅順 d 青島 e 平壤
- ロ) a 杭州 b 寧波 c 福州 d 上海 e 台北
- ハ) a 泉州 b 広州 c 香港 d マカオ e 南京

問9 東アジア海域で活動した倭寇について誤っている記述を1つ選びなさい。

- a 彼らは海賊・商人集団であった。
- b 前期倭寇は14世紀を中心に活動した。
- c 後期倭寇は16世紀を中心に活動した。
- d 後期倭寇は日本人が主体となっていた。
- e 彼らが活動したのは中国・朝鮮の沿岸地域であった。

問10 東アジア海域への西洋諸国・西洋人の来航について正しい記述を3つ選びなさい。

- a 前漢時代に大秦王安敦の使者が日南郡に来たといわれる。
- b オランダ人は17世紀前半、台湾北部にゼーランディア城を築いた。
- c 17世紀末、明の残党によってオランダ勢力は駆逐された。
- d フランシスコ＝ザビエルは中国伝道の途中、泉州付近で死去した。
- e マテオ＝リッチはゴア・マニラを経て北京に入った。
- f 1724年、乾隆帝はキリスト教の布教を禁止した。
- g 清代の上海で外国貿易を独占した特許商人の組合が公行だった。
- h ジャーディン＝マセソン商会はイギリスの茶・絹貿易などで中心的存在だった。
- i 18世紀末以降、イギリスは三角貿易をおこない、インドのアヘンを中国へ運んだ。
- j 1833年、イギリス東インド会社の中国貿易独占の廃止が決定された。

3 次の文章を読み、後の問(1～9)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)の中からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

第二次世界大戦後、冷戦体制の形成が進むなか、独立国が次々と誕生した東南アジアもその影響を強く受けることになった。1954年にはアメリカ・オーストラリア・ニュージーランドと共に、フィリピンとタイおよび南アジアのパキスタン

が加わった(1)を基盤に、この地域における西側の結束が目指された。同年5月、ベトナムでは(2)でフランス軍が大敗を喫し、7月にジュネーヴ休戦協定が調印された。これにより(3)を暫定的な軍事境界線として、ベトナムは南北に分断され、南では1955年10月、親米派の(4)首相がバオダイを追放してベトナム共和国を樹立し大統領に就任した。アメリカは北ベトナムによるベトナム全土の共産化を恐れて軍事介入を進め、1964年の(5)をきっかけに、翌年から北爆を開始した。1973年に(6)が結ばれるまで続いたこのベトナム戦争は、多くの犠牲者を出し、そのためアメリカ国内やヨーロッパ各国、そして日本でも学生や市民らによる激しい反戦運動が展開された。

この間、1967年8月には西側に属する東南アジア諸国5か国によって東南アジア諸国連合が結成されている。同連合は当初、反共同盟の性格が色濃かったが、1971年以降、政治や経済における相互協力を深める地域機構に変化し、1984年にはイギリスから独立したブルネイが加盟、冷戦終結後の1990年代半ば以降はほかの4か国も加盟を果たした。その後はEUのような地域連合の完成を目指して努力を続けている。

一方、東南アジアではアフリカの新興独立諸国やインド、中国と共に、東西の冷戦構造から自立して第三勢力を形成しようとする動きもあった。1955年にインドネシアの(7)で開催されたアジア＝アフリカ会議がその象徴である。29か国が参加したこの会議では、インド首相の(8)、中国首相の周恩来、(9)大統領のスカルノ、そしてビルマ(ミャンマー)首相のウー＝ヌらが中心となり、基本的人権と国連憲章の尊重などを謳った(10)が確認された。

問1 空欄(1～10)に入るのもっともふさわしいものを、それぞれの選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- (1) a 東南アジア条約機構 b 東南アジア友好協力条約
c 南太平洋フォーラム d 太平洋安全保障条約
e アジア・太平洋経済協力会議
- (2) a ダナン b ハイフォン c ディエンビエンフー
d フエ e ハノイ

- (3) a 北緯38度線 b 北緯22度線 c 北緯18度線
 d 北緯17度線 e 北緯7度線
- (4) a ホー=チ=ミン b ファン=ボーイ=チャウ c アウン=サン
 d ピブン e ゴ=ディン=ジエム
- (5) a ウォーターゲート事件 b アムリットサール事件
 c トンキン湾事件 d ゲティン=ソヴィエト運動
 e 塩の行進
- (6) a パリ和平協定 b 南京条約
 c サンフランシスコ講和条約 d ワシントン条約
 e 北京条約
- (7) a ジャカルタ b バンドン c アチエ d デンパサール
 e アユタヤ
- (8) a ネルー b ガンディー c アンベードカル
 d マハティール e マルコス
- (9) a フィリピン b マレーシア c インドネシア
 d シンガポール e タイ
- (10) a 太陽政策 b 新思考外交 c 建国五原則(パンチャシラ)
 d 平和五原則 e 平和十原則

問2 下線部(イ)について、第二次世界大戦後の冷戦体制の形成と直接には関係のない事項を下から1つ選びなさい。

- a アメリカ(トルーマン政権)による封じ込め政策
 b ソ連などによるコミンフォルムの結成
 c イギリスの元首相チャーチルによる「鉄のカーテン」発言
 d スペインにおける人民戦線内閣の成立
 e アメリカを中心とする北大西洋条約機構の発足

問3 下線部(ロ)について、東南アジア諸国の独立に関する説明として正しいものを1つ選びなさい。

- a ビルマ(ミャンマー)はイギリスから独立した。
- b インドネシアはポルトガルから独立した。
- c フィリピンはスペインから独立した。
- d タイはアメリカから独立した。
- e ラオスは第二次世界大戦前から一貫して独立を維持していた。

問4 下線部(ハ)について、このときベトナム北部に位置した国の正しい名称を1つ選びなさい。

- a ベトナム連邦共和国 b ベトナム民主共和国
- c ベトナム王国 d ベトナム社会主義共和国
- e ベトナム民主主義人民共和国

問5 下線部(ニ)の国で1960年に結成された南ベトナム解放民族戦線に関する説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- a 自国政府を支援するために市民らによって結成された。
- b 腐敗した自国の政権を打倒するために幅広い勢力によって結成された。
- c 北ベトナムを打倒するために市民らによって結成された。
- d アメリカが水面下で介入する親米戦線として結成された。
- e 南北ベトナムの平和共存と和解を目的に結成された。

問6 下線部(ホ)に関する説明として、正しくないものを1つ選びなさい。

- a この戦争のあいだ、南ベトナムの政治は安定せずクーデターが相次いだ。
- b この戦争は泥沼化し、アメリカは財政赤字の拡大に苦しんだ。
- c 米軍撤退後、1975年に北ベトナムが南ベトナムを制圧する形で南北統一がなされた。
- d この戦争の影響はラオスやカンボジアにも拡大した。
- e この戦争の末期に日本の自衛隊がベトナムの国連平和維持活動に参加した。

問7 下線部(ヘ)の組み合わせとして正しいものを1つ選びなさい。

- a ビルマ(ミャンマー)、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア
- b フィリピン、タイ、マレーシア、インドネシア、南ベトナム
- c フィリピン、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア
- d ビルマ(ミャンマー)、タイ、南ベトナム、シンガポール、インドネシア
- e マレーシア、シンガポール、インドネシア、バングラデシュ、タイ

問8 下線部(ト)に含まれない国を1つ選びなさい。

- a 東ティモール b ベトナム c ビルマ(ミャンマー)
- d カンボジア e ラオス

問9 下線部(チ)について、このような運動と直接つながりを有する事項を1つ選びなさい。

- a プラザ合意 b 非同盟諸国首脳会議 c 地球サミット
- d グラスノチ e 第3インターナショナル

4 次の文章を読んで以下の問(1～22)に答えなさい。

1789年に勃発したフランス革命は、18世紀の後半から19世紀にかけてヨーロッパと南北アメリカ一帯でそれぞれ多様なかたちで展開する「環大西洋革命」の一環として捉えることもできる。革命の背景の一つとしてしばしばフランス啓蒙思想の影響が指摘されるが、アメリカ独立宣言の思想的影響は無視できないし、そもそも、独立戦争への参加によるフランス王国の財政破綻がフランス革命の原因の一つでもある。また世界で最初に産業革命を経験していたイギリスとの経済的、政治的争いに敗れたことも、革命の背景として指摘することができるだろう。このようにフランス革命の原因は、18世紀末のフランス国内外の政治、経済、財政、社会の諸状況を複合的に見なければ、理解することは難しい。

とはいえ、革命のただ中であつた当時の人々が、こうした状況を俯瞰的に眺め、その中で意図して革命を進めていったわけではない。1789年にヴェルサイユで開催された全国三部会の基本的な目的は、危機的状況にある王国財政をいかにして回復させるかという点にあり、このとき全国からやってきた三つの身分の代表者たちに、革命への明確な意志を確認することはできない。7月14日のパリ・バスティーユ牢獄襲撃以降の出来事は、多くの場合当時の人々の予想を大きく超えて展開した。

ただ同時に、革命に関わつた者たちが、自分たちの未来を苦闘の中で構築しようとする主体的な意志を持っていたことも明らかである。この年、憲法制定国民議会で採択された「人間及び市民の権利の宣言」(「人権宣言」)は、その具体的な現れの一つと言えるだろう。以下はこの宣言の抜粋である。

第一条：人間は かつ において なものとして生まれ、また存在する。社会的な は、共同の利益にもとづいてのみ、設けることができる。

第二条：あらゆる政治的結合の目的は、人間の自然で時効により消滅することのない の保全である。それらの とは、 ・ ・安全及び への抵抗である。

第三条：あらゆる (サ) の根源は、本質的に (シ) のうちに存する。いかなる団体、いかなる個人も、(シ) から明白に由来するのではない權威を、行使することはできない。

第十七条：(ケ) は、神聖かつ不可侵の(カ) であり、何人も、適法に確認された公の必要が明白にそれを要求する場合で、かつ、正当かつ事前の補償のもとでなければ、それを奪われない。

その後フランス革命は、1791年憲法の下、立法議会が開かれることになるが、この体制下で王政の廃止^(ス)が行われ、やがて共和国の樹立という新しい段階へと進む。国内の反革命^(ソ)と国外の君主国との戦争^(チ)によって、政治的、社会的な混乱は収まらず、やがてロベスピエール^(ツ)らを中心として恐怖政治^(テ)と呼ばれる独裁体制を生む。強力な中央集権体制のもと、国内外の危機は一時的に去るが、その後も混乱^(ト)は収まらず、フランスが国家として安定を手に入れるのは、コルシカ島出身の軍人ナポレオン＝ボナパルトが権力を掌握するのを待たなければならない。ナポレオンはその後皇帝として即位するが、各国の反抗に遭って没落し、1814年～1815年のウィーン会議^(ナ)は、フランス革命が掲げた理念を否定し、ヨーロッパの国際体制を革命前のそれに戻そうとするスタンスを明確にした。しかし一方で、革命とその後のナポレオン戦争は、ヨーロッパを越え、カリブ海からラテンアメリカに及ぶ諸地域の独立運動^(ニ)に様々な影響を与えてもいる。

フランス革命勃発の背景は、アメリカ独立革命やイギリス産業革命からの影響を受け、かつフランス革命自体も、カリブ海からラテンアメリカ諸国の運動と無関係ではない。このような意味で、フランス革命は環大西洋革命の連関の中に位置づけられるのである。

(1) 下線部(ア)について、18世紀の啓蒙^{もう}思想家の一人で特にカトリック教会への批判を行い、フリードリヒ2世の宮殿にも招かれ、思想的な影響を与えた人物が書いた著作の説明としてもっとも適切なものを次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 万人の万人に対する闘争を避けるために人間は国家に統治を委任したとして絶対王政を擁護した。
- b 私有財産制こそが人間社会の不平等の原因だと指摘した。
- c イギリスの文物を紹介し、これを賛美することを通してフランスの後進性や封建制を批判した。
- d 各国の法律論を紹介し、イギリスの政治制度をモデルとして三権分立論を主張した。
- e 人民は自分たちの財産や幸福を守らない政府への反抗権を持っていると主張した。

(2) 下線部(イ)について、フランスの他に、アメリカ独立戦争に直接参戦した国はどこか。適切な答えを次の選択肢(a～g)から2つ選びなさい。

- a オランダ b スイス c オーストリア d スペイン
- e ロシア f デンマーク g イタリア

(3) 下線部(ウ)について、フランス革命前の状況説明としてもっとも適切な文を次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 1786年フランスはイギリスとの間で英仏通商条約を結んだが、これにより、何よりもまずフランスの農業が壊滅的な打撃を受け、革命勃発の一因となった。
- b ルイ15世の息子ルイ16世は、財政問題の行き詰まりから全国三部会を召集した。
- c 重農主義の立場をとるネッケルは1774年に財政改革の任につくが、特権身分層の反発によって1776年失脚する。
- d 三身分のうち第一身分である聖職者の中には、第三身分出身者もあり、社会の問題を理解し、変革を支持する者もいた。
- e 第三身分のうち、社会的上昇を果たした上層ブルジョワだけは、既に革命前から制限選挙に基づく議会政治を通じて政治上の権利を行使し、国政をリードする立場に立っていた。

(4) フランスにおける1789年の出来事を起きた順に並べた場合、適切な順番はどれか。次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a シェイエスの『第三身分とは何か』発行 → 人権宣言採択 → 封建的特権の有償廃止 → 球戯場の誓い → 全国三部会開催
- b 全国三部会開催 → シェイエスの『第三身分とは何か』発行 → 球戯場の誓い → 封建的特権の有償廃止 → 人権宣言採択
- c 人権宣言採択 → シェイエスの『第三身分とは何か』発行 → 全国三部会開催 → 封建的特権の有償廃止 → 球戯場の誓い
- d シェイエスの『第三身分とは何か』発行 → 全国三部会開催 → 球戯場の誓い → 封建的特権の有償廃止 → 人権宣言採択
- e 全国三部会開催 → シェイエスの『第三身分とは何か』発行 → 封建的特権の有償廃止 → 球戯場の誓い → 人権宣言採択

- (5) 下線部(エ)について、三つの身分に関する説明としてもっとも適切でないものを次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。
- a 革命初期に活躍したシェイエス、ミラボー、ラファイエットらはいずれも貴族出身である。
 - b 第三身分のうち農民は、当時のフランスの人口の80%以上を占めていた。
 - c 第一身分の聖職者のうち最上位に位置する者たちは大半が貴族出身者で占められた。
 - d 全人口の2%でしかない特権身分層が全国の土地のうち約40%を所有していた。
 - e 1789年の全国三部会では、第三身分は身分別議決法ではなく個人別票決を望んだ。
- (6) 文章中の人権宣言の空欄(オ)にあてはまる文言を次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。
- a 誠実 b 高貴 c 自由 d 平等 e 清廉
- (7) 文章中の人権宣言の空欄(カ)にあてはまる文言を次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。
- a 義務 b 権力 c 権利 d 法律 e 社会
- (8) 文章中の人権宣言の空欄(キ)にあてはまる文言を次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。
- a 自由 b 均質 c 有徳 d 有限 e 平等
- (9) 文章中の人権宣言の空欄(ク)にあてはまる文言を次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。
- a 博愛 b 差別 c 常識 d 制裁 e 負担
- (10) 文章中の人権宣言の空欄(ケ)にあてはまる文言を次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。
- a 裁判権 b 所有権 c 参政権 d 団結権 e 生存権

(11) 文章中の人権宣言の空欄(□)にあてはまる文言を次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 国王 b 貧困 c 国家 d 独裁 e 圧政

(12) 文章中の人権宣言の空欄(⊕)と(シ)の組み合わせとして、もっとも適切なものを次の選択肢(a～h)から1つ選びなさい。

- a (⊕)人権－(シ)国民 b (⊕)主権－(シ)市民 c (⊕)行政権－(シ)国王
d (⊕)行政権－(シ)国民 e (⊕)主権－(シ)国民 f (⊕)人権－(シ)市民
g (⊕)主権－(シ)国王 h (⊕)行政権－(シ)市民

(13) 下線部(ス)は、革命開始以降行われた諸改革の集大成といえる憲法だった。フランスにおいて1789年から1791年にかけて行われた諸改革として適切でないものを次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 同業組合の禁止 b アッシニア紙幣の発行
c 全国の行政区画を再編 d 男性普通選挙制の実施
e 教会財産の没収

(14) 下線部(セ)の立法議会が設置された期間中に起きた出来事として適切でないものを次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ピルニッツ宣言が出される
b ジロンド派内閣の成立
c マルセイユからの義勇軍がパリに入る
d 亡命貴族の財産没収法成立
e 8月10日事件

(15) 下線部(ソ)を導いた重要な理由の一つは、国王ルイ16世に対する人々の信頼失墜であるが、国王への強い不信をもたらした最大の事件が起きたのはいつか。次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 1789年6月20日 b 1789年8月4日 c 1789年10月5日
d 1791年6月20日 e 1792年6月20日

(16) 下線部(タ)の1つにヴァンデーの農民反乱をあげることができるが、この反乱についての説明としてもっとも適切なものを次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 国民公会が独身男性を対象にした徴兵制を実施した1793年3月、この反乱が起きた。
- b フランス東部の比較的富裕な農村地帯で、王党派の農民が主体となって起こした反乱である。
- c フランス東部の、特にプロテスタント勢力が優勢な地域で起きた反乱である。
- d 富裕な農民たちが都市民と同盟して起こした反乱だったが、一ヶ月後にはほぼ鎮圧された。
- e キリスト教否定運動への反発を理由に、カトリック信仰の強いフランス東部で起きた反乱である。

(17) 下線部(チ)について、1793年に結成された第1回対仏大同盟に加わっていない国を次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a スウェーデン b ポルトガル c スペイン
- d サルデーニャ e オーストリア

(18) 下線部(ツ)の人物が属していた山岳派の憲法とも呼ばれる1793年憲法はきわめて民主主義的な内容を持つ。この憲法についての説明として、適切でないものを次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 1793年6月に国民公会で採択されるものの、結局実施されることはなかった。
- b この憲法は、主権在民を明記している。
- c この憲法は、人民の生活権や労働権を認めた。
- d この憲法は、男女普通選挙制をフランス史上初めて認めた。
- e 採決にあたっては国民投票が実施され、圧倒的な支持を得て成立した憲法である。

(19) 下線部(テ)について、立法議会以降の革命政治の動因となったのは党派間の激しい争いだが、革命期の党派について述べた説明としてもっとも適切でないものを次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a マラーは山岳派の中心メンバーの一人で、新聞『人民の友』を発行した。
- b ジロンド派内閣は、革命戦争の戦況悪化を受けて、フイヤン派の内閣にとってかわられた。
- c 山岳派は小ブルジョワ、都市貧困層の利害を代表していた。
- d 国王逃亡事件の混乱を受けジャコバン＝クラブから分離してフイヤン派が誕生した。
- e ジロンド派は立法議会内では保守的な立場にあったが、続く国民公会では左派を構成した。

(20) 下線部(ト)について、ロベスピエール失脚後に起きたある反政府運動を鎮圧したのが後の皇帝ナポレオンである。この運動を次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a バブーフの武装蜂起計画
- b テルミドール9日のクーデタ
- c ブリュメール18日のクーデタ
- d プレリアル30日のクーデタ
- e 1795年10月の王党派の反乱

(2) 下線部(ケ)によって成立したウィーン体制に関する事件、事象について述べた文として、適切なものを次の選択肢(a～g)から2つ選びなさい。

- a 1819年のカールスバート決議は、ドイツ連邦における言論統制、大学の監視など自由主義運動を抑圧することを目的としていた。
- b 1815年11月に結成された四国同盟は、当初イギリス、ロシア、オランダ、プロイセンで結成されたが、3年後にフランスが加わり五国同盟となる。
- c 1815年6月のウィーン議定書により、プロイセンはフィンランド・ベッサラビアを獲得する。
- d イタリアの自由主義運動の中心勢力カルボナリは、ブルボン朝の復活に対して、1820年ローマ、1821年ピエモンテでそれぞれ蜂起するが、オーストリアの軍隊に鎮圧されてしまう。
- e ナポレオン支配の崩壊後に復活したブルボン朝の専制に対して、スペインのカディスで1820年、スペイン立憲革命が起きるが、3年後にはフランス軍の干渉で挫折した。
- f ポーランド立憲王国は、ナポレオン支配下のワルシャワ大公国の大部分で形成された王国で、プロイセン国王が君主を兼ねたため、事実上プロイセン領となった。
- g プロイセンの政治家メッテルニヒは、フランス革命前の主権と領土を正統とする正統主義を提唱した。

(22) 下線部(二)のカリブ海からラテンアメリカ諸国における独立運動について説明した以下の文の中で、もっとも適切なものを次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アルゼンチンやメキシコの独立運動で指導的役割を演じたのは、白人とインディオの混血であるムラートたちであった。
- b ペルーは、1811年ミランダが独立を宣言するものの、1824年にシモン＝ボリバル指導によって独立した大コロンビアに併合された。
- c ハイチ独立運動の指導者で「黒いジャコバン」とも呼ばれたトゥサン＝ルヴェルチュールは、1804年のハイチの独立を目にすることなく獄死した。
- d チリは、1820年シモン＝ボリバルの支援を得て独立を宣言し、共和国となった。
- e この地域の独立運動に対して、メッテルニヒは弾圧を試みるが、この地域への経済進出を狙うロシアやオーストリア、またモンロー宣言を発したアメリカ合衆国の反対にあって断念した。

